

令和6年度「南区基本計画推進部会」第1回会議 議事録

1 開催概要

(1) 日 時

令和6年4月16日（火）午後2時～午後3時半

(2) 場 所

南区役所第2会議室

(3) 出席者

氏 名	所 属	備 考
天野 広一	唐橋学区自治連合会、南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会、南少年補導委員会、南民生児童委員会	部会長
田中 一明	九条学区自治連合会、南区社会福祉協議会	
尾崎 嘉彦	京都市立塔南・開建高等学校校長	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
横江 美佐子	南青少年活動センター所長	
小牧 徳満	クミンプロジェクト代表、大藪小学校 PTA 会長	
花里 尚悟	市民公募委員	

2 内 容

(1) 開 会

(2) 挨 捶

部会長 天野 広一

南区長 今井 邦光

(3) 議 題

ア 令和5年度の取組実績（報告）

イ 令和6年度の事業計画（案）

＜主な意見等＞

横江委員	「work work みなみ」について、区民の皆様は何を見て参加されたのか。
今井課長	参加者の募集については、市民しんぶん令和5年7月15日号の1面への掲載、南区内の全小学校へスクリレを使用した周知のほか、南区役所の各SNSで情報発信を行った。

尾崎委員	スクリレは本校でも使用していたが、保護者に直接伝わるので、保護者に見ていただくには便利であった。
小牧委員	「work work みなみ」の案内含め、学校からの情報は届いていた。その案内を見て申し込む方もいたと思う。
横江委員	対象の方に情報が届くのが大事だと思うので、良かった。
天野部会長	小牧委員は御存知だと思うが、下京区の京都市立芸術大学移転の流れが南区へ押し寄せてきているが、どう思うか。
小牧委員	私自身は押し寄せている波を肌では感じていないが、活動の場として、昨年度、南区と下京区で合同開催したまちなかアートでは、昨年よりも沢山の展示ができ、目に触れる機会が増えたため、ありがたい。どれだけの人が今後の動きにつながるかが次の課題である。
天野部会長	開建高校と地元の接点を持つようにしているところだが、京都市立芸術大学の学生も上手に地域に入っていっていただければと思う。 また、南区の企業との関わりについて、南区内には、国際的に有名な大企業も多いが、もっと身近である中小企業家同友会の皆さんと地元の子ども達との接点などを大事にしていきたい。 令和5年度の取組では高齢者、子育て世代、子ども対象の事業はフォーカスされているが、その間の今頑張って働いている世代の楽しみ方が少ない印象を受けたがどうか。
花里委員	20代は南区内で遊ぶよりも京都の中心や大阪などに出てしまうことが多いため、若者向けのエンターテインメントがあってもいいと思う。
天野部会長	我々上の世代や地元の人からは、我々が準備して楽しませているだけで、自分達が楽しめていないという意見をたまに聞く。
横江所長	下京区南部へ京都市立芸術大学が移転したことにより、南区へ若い世代の転入等は増加したか。
安東課長	統計は無いが、京都市立芸術大学の職員に聞いたところ、京都駅前へ移転したことによりアクセスが良くなったため、下宿する必要がなくなったという意見が多数あったとのことで、一気に南区での下宿が増えているわけではないという感覚である。

天野部会長	民泊などを利用した外国人観光客が、学生より多いと感じているがどう思うか。
花里委員	私の周りでは、進学や就職を機に地元に残る人が少ないと感じている。
山田委員	私は休日に南区に行ってイベントに参加したことがあまり無い。一斉清掃は何回か参加したことがあるが、自分達のような働く世代向けのイベントは少ないかもしれません。
田中委員	地域の人が喜んでくれるイベントを行いたい。高齢者の一人暮らしをしている方を地域に巻き込めないか。気軽に参加できるようなものがあると良い。
天野部会長	高校生の世代に新しい動きはあるか。
尾崎委員	開建高校は学校内だけでなく学校外でも学ぶため、地域の方に様々なことを協力していただいている。昨年度、「京都探求」の授業の中で企業や行政機関の方に考える素材をいただき、興味があるテーマごとにグループを組んで探究活動を行った。また、生徒と教員が共に学校の未来を考える「未来協創会議」において、地域の方と交流して意見を伺った。生徒が実社会と連携することによって、沢山の学びがあった。色々な方にご支援や連携していただきありがたい。
安東課長	京都探求で関わった生徒に、子どもの頃は学区区民体育祭に参加したが、最近は参加していないという話を聞いた。天野会長がおっしゃるように、子どもと高齢者の間の層が抜けている気がする。例えば、ふれあいまつりなど地域のお祭りなどに、どうやって中間層の方に来てもらうか、関心を持ってもらうかの仕掛けづくりをしていきたい。京都探求で開建高校と関わりが持てたので、高校生にご協力していただきなどを検討していきたい。
横江委員	令和6年度の新たな取組である、南区の子育て環境の魅力をまとめたリーフレット「南区子育て応援MAP」リーフレットの内容について知りたい。
今井課長	マップはA3サイズで、表面では、南区の特徴などの暮らし・生活環境や、子ども食堂、すくすくみなみなどの子育てお役立ち情報などについて紹介している。また、裏面では、南区の子育てに関わるスポットを示したマップを掲載している。マップには、保育園や児童館、小学校のほか、子どもの遊び場である公園については、多機能トイレの設置箇所も掲載するなど、子育てをする親目線で使いやすいマップとしている。
天野部会長	南区制70周年記念事業について、どのようなことを行っていくのか。南区内の企業や中小企業家同友会に協力してもらい、ナンナンのイラスト入りの旗を掲げて

	もらうのはどうか。
横江委員	協力企業にロゴマークを掲げてもらうのも面白いかもしない。
安東課長	南区は、企業が多いので企業とのコラボは検討中である。せつかくなので、南区の70周年を地域のみんなでお祝いできるような企画をしたい。
横江委員	府立と市立の違いはあるかもしれないが、鳥羽高校も南区在住の生徒が多くいるので、巻き込んで中高生も盛り上がるようにしてほしい。中高生世代を巻き込むためにも南区に住んでいる学生が南区で何か参加できるという仕組みがあると良い。
山田委員	中小企業家同友会としても、先ほど参加が薄い層として話に出ていた働く世代として何か関わって盛り上げていけたらと思う。
花里委員	南区制70周年記念事業については、SNSだけでなく、例えば毎日目につくような駅などに1年前からカウントダウンの表示をするのはどうか。
安東課長	検討したい。
山田委員	地域の歴史などが学べたり、訪れたりする参加型の謎解きをするのはどうか。親子で参加してもらい、南区の良さを再発見できる機会になると思う。開建高校の生徒にも協力してもらい、みんなで連携して作れたら良い。
花里委員	紙だけでなく、ゲームアプリや二次元コードも良いと思う。
尾崎委員	門川前市長から松井市長に変わったが、南区への要望などはあるか。
今井区長	要望というよりは、地域で活動している方の声を直に拾って、課題を整理したいとのことである。
山田委員	財政難の話が以前からあるが、今はどのような状況で今後の展望はどうか。
瀬野室長	本市も含め、全国的に企業からの税収が予想以上に入ってきてている状況ではあるが、引き続き厳しい状況に変わりはない。取捨選択し、決められた予算内でやりくりする必要がある。

4 閉 会